

審議会等の会議結果報告書

【担当課】生涯学習課図書館係

会 議 の 名 称	令和8年度第1回図書館協議会		
開 催 日 時	令和8年4月22日（水） 午前10時00分～午後12時		
開 催 場 所	茅野市図書館 2階会議室・閲覧室		
出 席 者	矢崎智義委員長、松岡隆志副委員長、奥原貴美子委員、小田由美委員、志水琴美委員、田村満利子委員、松倉和恵委員、飯田洋市委員、山田教育長、小池生涯学習部長、矢嶋生涯学習課長、伊藤統括、名取館長、読みむinちの事務局梅津栄美、図書館職員10名		
欠 席 者			
公開・非公開の別	公開・非公開	傍 聴 者 の 数	0人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容		
生涯学習課長	1 開会（生涯学習課長） みなさんおはようございます。それでは、ただいまより令和8年度の第1回の図書館協議会を始めさせていただきたいと思います。 次第をお配りしていますが、本日は委嘱と挨拶、それから第2部として昨年からお話していたワークショップを開催します。次第のとおりにいきませんが、ここで委嘱をした後、すぐに閲覧室のほうへ移動していただければと思いますので、資料と名札を持って移動をお願いします。よろしく願いいたします。 それでは教育長、委嘱をお願いします。		
教育長	2 委嘱書の交付 （教育長から委嘱書が交付される）		
生涯学習課長	はい、ありがとうございます。それでは、さっそく移動をお願いします。席は指定となっておりますので、グループごと座ってください。 （閲覧室へ移動）		
生涯学習課長	移動をお願いして申し訳ありませんでした。それでは、引き続きとなりますが、最初に会議のプログラムについて説明をします。本日第1回の茅野市図書館協議会、そしてワークショップのプログラムです。 開催テーマですが、「どんな茅野市図書館にしたいかみんなで夢を語り合う」です。 開催目的は2点あります。1点目は、昨年度から始まっている図書館改革に臨むモチベーションのアップです。2点目は、図書館協議会委員、職員がそれぞれ考えていることをお互いに出し合って共有し、内容を高めることです。 今日の会議の目標は、全員で「行きたくなる心おどる図書館を目指す」機運の醸成と取り組みに対する個々人のワクワク感、モチベーションの向上を考えています。 本日の内容ですが、次第に準じ、教育長、また、委員長からの挨拶、次に資料ステップ3の5「審議会の公開」についての説明、図書館協議会の説明を予定しています。本日、今年度からの委員の方が2名いらっしゃる的说		

教育長	明をさせていただきます。その後、各自自己紹介をよろしくお願いいたします。会場の移動は完了しています。 自己紹介後は、ワークショップに入りたいと思います。付箋を使ったグループワークですが、こちらについては始める際に私のほうからやり方を説明したいと思います。 最後に、まとめの会で終了となります。90分程度を予定しています。よろしくお願いいたします。 それでは教育長から挨拶をお願いします。 3 教育長あいさつ みなさん、おはようございます。昨年、ちょうど今頃の4月ですが「行きたくなる心おどる図書館」を掲げ、新たに出発しました。1年間、館長のもとでささやかですが図書館を変えてまいりました。その間、委員長をはじめ図書館協議会のみなさんには非常に丁寧な指導とアドバイスをいただきました。ありがとうございました。今年は本当に図書館を大きく変えていく年、図書館の職員も私も全員で気持ちを固めています。皆さんご存じのように今の時代に対応した図書館に変わっていつている市もある一方、現状のままの図書館で徐々に干からびていつてしまう図書館もあります。ある市では図書館が廃止されるといった事態が起きています。そういったなかで、もう一度市民のための図書館を私たちは作っていかなければならない、そのように考えています。なお、お手元に私の勝手な思いですが、こういった図書館になってほしいという思いを込めた資料がありますので、後程ご覧ください。こちらに囚われずに新しい図書館をみんなで作っていきたいと思います。 さて、今日は課長の話にもあったように、全員がモチベーションをあげて新しい図書館を作っていく日、そういった出発点になるかと思います。そのなかで私たちは大きく反省しなければならないことがいくつかあります。図書館協議会を開いて貴重なご意見をいただいてきましたが、私たちがそれに応えることができていませんでした。そのため言っても仕方がないという気持ちになられた方もいらっしゃるかと思います。そういったことは今年はなしとし、みなさんの思いに本当に応えていきたいと思います。改めて委員長をはじめ、みなさんよろしくお願いいたします。 さて、毎回のことながら雑談をします。今日は本を持ってきました。先日、夜に「なずなはなさく」という俳句が浮かんできました。こちらは、20年から30年ほど前に聞いた俳句だったと記憶しています。突然頭に浮かんできました。以前まではそういった俳句が浮かぶと、部屋の中の本を探したり、物置に行ったりと、「あれはどこで聞いたのか?」、「あの会のときに先輩が聞いた気がする。あのノートどこにあったらうか?」、「いや、本で見たような気がする。」とあちこちを探し回ります。そうして探しているうちに何をやっていたのか分からなくなることもありました。ところが最近になって生成AIを使い始めました。かつてはWEB検索で「なずなはなさく」という部分を入力して検索をしていましたが、今回、WEB検索をしたところ該当の俳句は見つかりませんでした。そこで、生成AIの「Gemini」を使用し、「なずなはなさく」の有名な句を教えてほしいと伝えたとところ見つかりました。そこで記憶がはっきりとしましたが、「よくみればなずなのはなさくかきねかな」という松尾芭蕉の歌でした。こちらが検索結果として出まして、その後この句がいつできたかを尋ねると、1686年（貞享3年）、松尾芭蕉が43歳の時の句という結果まで表示されました。かつてのやり方では、一生懸命本を探して、探し当てた後に松尾芭蕉がいくつの年の句かを本の後ろの年表で確認していました。また、その当時の年代を見たりすることで調べていましたが、そういった情報が一気に出てきました。これは便利なものができたと思いましたが、せっかく探し当てた俳
------------	---

生涯学習課長 委員長 生涯学習課長	句にもかかわらず、あとの喜びがなかったのです。そこから何か広がることもありませんでした。そのため、生成 AI は便利である一方、そういった感覚を受けました。生成 AI について語られている方が「生成 AI を用いることで、読書の幅がより広がって新たな本を手にしたたり、図書館に行くようになるような生成 AI の使い方をしなければならない。」と話していたそうです。 私もその考えに共感しました。生成 AI を用いて少しばかりですが知識の入り口に立つことができたので「図書館に行くか、またはたくさん自分で本を買ったりしなければならぬかもしれない。」と思いました。そのため、図書館の在り方の 1 つもこれから生成 AI を活用していく時代になるにあたり、生成 AI への問いかけだけで完結してしまう方がいる中でも、どのようにして図書館の利用に発展させるかということも、今年は難しいかもしれませんが、徐々に考えていかなければならないと思いました。 生成 AI の中で、この俳句は俳諧集の『続みなしぐり』に収められているそうです。図書館に所蔵はありますでしょうか？もし所蔵があれば、嬉しく思います。所蔵があれば、この本を開くことで他の俳句も読むことができます。そのように感じました。最後は雑談でしたが、本日 1 日みなさんよろしくお願いします。 続きまして委員長、よろしくお願いします。 みなさん、こんにちは。とうとうこの日が来たという思いがあります。私はこの場所が美術館であった頃より後、図書館になった頃から図書館協議会の委員を務めています。20 年程になるかと思います。この場所を図書館にするために市民が集まり、様々なワークショップを実施しました。本日取り組もうとしているようなことも何回か開催しました。その結果が PDF のデータで残っているかと思います。いよいよ始まるかと思うと、本当に心がワクワクします。今までの図書館協議会のように一方的に話をするのではなく、みなさんと一緒に考えることが必要だと思えます。とても大切な話ですので、みなさんがもっている知恵を集め、形にしていくことはこういったワークショップでなければできないのではないかと思います。取り組んでいくうちに自分の考えと全員の考えを集めて、より良いものにしていくことができるようになるかと思いますので、みなさん楽しみにやっていただきたいと思います。よろしくお願いします。 4 審議会の公開について ありがとうございました。それでは、次に図書館協議会の説明をします。その前に審議会の公開についてご案内したいと思います。 審議会は通常、公開をしています。今回も公開ということでよろしいでしょうか。ホームページへの議事録の掲載につきましては、氏名を伏せたうえで作成し公開しますので、よろしくお願いします。 次に、図書館協議会の資料 1 をご覧ください。第 14 条の 2 の部分です。 (以下抜粋) となります。図書館の運営などについてそれぞれのお立場から館長に意見を述べる機関として茅野市図書館協議会があり、定員 12 名以内とし、令和 7、8 年度は 8 名の委員で構成をしています。昨年度から継続の委員の方は引き続きよろしくお願いします。また、今年度からの新しい委員の方も 1 年間よろしくお願いします。 そういった課題、役割がありますが、この茅野市図書館は行政の機関であり、市民のみなさんのものです。そのため、私たち行政の職員だけでどのような図書館にしたいかを考えることは難しいです、茅野市はパートナーシップのまちづくりに四半世紀以上取り組んできていますので、市民参画、つまり行政が市民のみなさんと一緒に図書館を運営していく必要があります。そ
--	--

	の市民のみなさんに当たるのが図書館協議会のみなさんです。よろしくお願いします。 続きまして、先ほど教育長から話がありましたが、一昨年までは年に2回から3回ほど協議会が開催されており、最後は事業計の報告をします、その間委員の意見の取り入れが難航したことも事実です。一昨年末からそういった部分の改善を図るため、委員のみなさんから様々な意見をいただき、それらを取り入れられるよう取り組んできました。 昨年からは、やはり図書館は職員のみなさんあってこそこの図書館であることから、図書館職員のみなさんも協議会にて一緒に話をする必要を感じ、何回か職員のみなさんにも参加してもらいました。その間、勉強会として行政アドバイザーの中川先生のお話を聞き、「そもそも生涯学習とは何か」、「社会教育とはどういったものか」という勉強からNHKの「クローズアップ現代」を視聴しました。内容は、岐阜県の図書館の様子でしたが、視聴後に意見交換もしたことから、今回の準備は整いまして、本日、図書館改革委員会をキックオフすることになりました。新しい委員のみなさんもそういった流れで今回を迎えています。よろしくお願いします。以上が図書館協議会の説明です。
委員長	5 自己紹介 私の好きな本は、最近読んだ本で、みなさんはご存じでしょうか。エリザベスキューブラーロスという方で、死の研究をずっと行なっている医師です。その方が死の研究をしていたところ、実際に重要なことは、生きることだったと分かり『ライフ・レッスンズ』という本を出したそうです。この本がおもしろいです。みなさんにも、ぜひ機会があれば読んでいただきたいです。
委員	私の好きな本は、『働かないアリに意義がある』という本です。長谷川先生という学者の方が書かれた本で、そういった余裕のある社会が大事だという内容の本です。よろしくお願いします。
副委員長	僕がここで好きな場所は隣の部屋です。あちらから見える桜がすでに散ってしまったのですが、素晴らしいと思っていまして、あの部屋で飲食ができるようにしてもらいたいと思います。よろしくお願いします。
委員	昔読んだ本で好きな本は、あさのあつこさんの『バッテリー』ですが、最近は町田そのこさんの作品に夢中で、新しいものが出版されるたびに読んでいます。よろしくお願いします。
委員	よく読む本はミステリーやホラーなどですが、こういった場でおススメする本が1冊ありまして、『カモメに飛ぶことを教えた猫』というものです。ルイス・セプルベダさんという方が書いている外国文学ですが、重油の海に浸かってしまったカモメが命からがらバルコニーに辿りつき、そこにいた黒い大きな猫ゾルバに「これから産む卵を育ててください。食べないでください。最後に飛ぶことを教えてください。」という3つの約束をして、というお話です。劇団四季でミュージカルにもなっていますので、本を読むことが少し億劫だという方はミュージカルを見ていただきたいのですが、生涯最良の本と思っていまして、こういった場ではおすすめています。ぜひ手にとってお読みください。
委員	土曜日にこの図書館で子ども向けのおはなし会をさせていただいています。そういった関係から絵本が大好きです。おススメの絵本は、おーなり由子さんの『ことばのかたち』という絵本で、もしこのような話す言葉に色や形が

	ついて目に見えろとしたら人は話す言葉が変わるだろうか、心に響く絵本です。出産や結婚のお祝いには必ずものにつけてプレゼントしている本です。よろしくお願いします。
委員	今年から、支援員の仕事を退職し、毎日が日曜日のようにになりました。つまり、毎日図書館に来館できるという立場になりました。心の中ではウキウキとしているような気持ちでいます。私は、好きな本が昔からですが、戦国物が大好きです。時代物がとても好きで、特に自分の思い入れのある武将がどちらかというとすぐ敗けてしまいます。「関ヶ原で、ここでこういった形に亡くなってしまったが、これで亡くならなかったら世の中はどうなっていたのだろう。」「私だったら絶対助けてあげる。」などいろいろと自分で妄想しながら、その部分を熟考しています。特に大谷吉嗣が大好きで、その方にゆかりのある福井県に行ってみたいと今思っているところです。よろしくお願いします。
生涯学習課長	(職員が自席で自己紹介を行う) ご紹介ですけれども、4月から図書館長と統括、2人のツートップ体制でこの改革を力強く引っ張っていただきます。今年度こういった人事体制になりましたので、みなさんよろしくお願いします。 なお現在、教育長をトップに図書館経営改革委員会の立ち上げを予定しています。よろしくお願いします。 みなさん、ありがとうございました。多少時間がかかりました。みなさんやはり本がお好きですね。本が好きで、図書館が好きな方たちです。本日はそういった話をたくさんしたいと思います。では、簡潔に申し上げていきます。
生涯学習課長	6 ワークショップ ワークショップの説明をしたいと思います。 (以下ワークショップの説明)
生涯学習課長	それでは、よろしくお願いします。 (ワークショップ)
生涯学習課長	それでは、発表をお願いします。 (ワークショップの内容発表)
生涯学習課長	7 閉会 最後、講評をお願いしたいと思います。まず委員長、最後に教育長にお願いしたいと思います。
委員長	お疲れさまでした。まさしくこういった会をやりたいと思っていました。面白かったという気持ちでいっぱいです。私が先ほどお話しした『ライフレンスズ』という本の中に、「みんな人間は鎧をかけて兜をかぶって生きている。」という記載があります。私たちは、本当に自分がやりたいことはどんなものかわからないうちに生きているのだそうです。今日はみなさん鎧を外して、兜も脱いだうえで話ができたと思います。こういった会がやりたかったのです。とても良かったです。ありがとうございました。
生涯学習課長	教育長、お願いします。

教育長	私たち行政は、どうしても「安全」や「何か言われることがないか」、そういったことを本能的に考えてしまいます。現状を変えることを嫌がる気質があります。今、私たちには自らその気質を潰していかなければいけない時が来ていると思います。そういった意味でこの時間は私たちにとって、本当に宝物のような時間でした。委員のみなさんもそれから職員のみなさんも私たちが「安全なままでいたい」という意識を全部外したうえで考えていかなければならないところの第一歩である今回の機会を宝物にしていきたいと思っています。そして私から1つ提案がありますが、こちらの発表内容を掲示しておき、統括を中心とした「図書館の経営を考える会」でこれらの内容から実現可能なものをピックアップし、例えばですが少し大きめの薄水色の模造紙に「今年やります」といった形で貼ったらどうかと思います。よろしくお願いいたします。何か挑戦し、失敗したときは失敗したということで良いと思います。やり直しは可能です。難しいようであれば、次のことに挑戦する、そうして現状を変えていきたいと思っています。今ご説明したものが少し現実的な目標の1つ目です、次に現実的ではありますが、少し難しいかと思う2つ目の目標です。実は昨日病院に行ったのですが、内科の待合室という場所は、7割から8割がおじいさんやおばあさんが占めています。そこで、おばあさんが具合を悪そうにしているところを旦那さんが本当に大事そうに手を繋いで歩いていました。また、おじいさんがおばあさんに手を繋いでもらったのを嬉しそうにしている姿もあり、みなさん恋人に戻ったような印象を受けました。図書館もおじいさんやおばあさんの恋人広場になったらいいと思います。2人で来て本を選び、何か思い出の資料を見つけて胸をときめかせる、そういった場所が作れたら良いと私は思います。さらに私の場合、先ほど外へ行って見たのですが、図書館の庭にどなたかが発表で仰っていた砂場や遊具を作って0・1・2歳広場に負けないような、小さい子がこちらに来て遊べるものがあっても良いと思います。運動公園との境の土手のようなところも綺麗だとは思いますが、重機を購入し、穴を掘り、砂を持ってきて枕木などを設置することで砂場にしても良いと考えました。砂場の管理については、保育園がノウハウを持っているので、衛生的な配慮もできるのではないのでしょうか。雑談をしましたが、本当に今日は久しぶりに楽しかったです。図書館のみなさんで新しいものを作っていきましょう。 ～午後12時00分 会議終了
-----	---